

喜多郎さんと 坂本サトルさん 八戸で来月5日、ジョイントライブ

感動より多くのの人に



音の強弱の付け方や演奏方法などを指導する喜多郎さん(中央)20日、八戸市

グラミー賞受賞歴のある世界的キーボード奏者・喜多郎さんと、南部町出身のシンガー・ソングライター坂本サトルさんが来月5日、八戸市公会堂でジョイントライブ「未来への祈り」を開催する。2人が20日、ライブ

で共演する八戸学院光星高校吹奏楽部の部室を訪れ、合同のリハーサルを行った。喜多郎さんが作曲した楽曲を、生徒とプロ奏者が全員で演奏し、細部の音の調整を図りながら、本番に向け、士気を高めた。(小嶋嘉文)

光星高でリハ、吹奏楽部と演奏

ジョイントライブは、40年以上前に喜多郎さんが同市の青南病院で当時行われていた音楽療法に関わり、「八戸に恩返しをしたい」と企画。今回は昨年に続き2回目の開催となる。当日は、南部手踊りの小柴社中や日計えんぶり組などに加え、歌手の高橋洋子さんも出演する。

喜多郎さんは、本番で同じステージに立つピアノやバイオリンのプロ奏者を引き連れて訪問。演奏された喜多郎さん作曲「千年女王」を聴きながら、音の強弱の付け方や演奏方法などを丁寧に指導した。生徒たちも伸びやかな音色で応え、本番のイメージを膨らませた。

同部部长で同校3年の福士湧太さん(18)は「プロの音を聴き、ずっと鳥肌が立

っていた。本番は会場を盛り上げる演奏を披露したい」と意気込んだ。

喜多郎さんは「地元の若者と一つのものをつくり上げる喜びを感じる。『これは楽しいことになるぞ』という予感しかない」と笑顔。坂本さんは「昨年のような感動をより多くの人に伝えていきたい」と話した。リハーサルに先立ち、喜多郎さんらはデーリー東北新聞社を訪れ、実行委員長を務める荒瀬潔社長と懇談した。

チケットは全席指定で、S席6千円、A席5千円、B席4千円。プレイガイドはデーリー東北チケットセンター、市公会堂など。開場は午後6時で、開演は同7時。問い合わせは、「未来への祈り」八戸実行委員会電話0178(51)837511へ。